

報道関係各位

2018年3月20日
株式会社川島織物セルコン

京都国立近代美術館 企画展

『明治 150 年展 明治の日本画と工芸』で資料紹介

会 場: 京都国立近代美術館

会 期: 2018年3月20日(火)~5月20日(日)

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市 社長:山口進)は、3月20日から5月20日まで京都国立近代美術館で開催される「明治 150 年展 明治の日本画と工芸」にご協力し、当社所有資料の中から約 30 点を紹介いただくことになりました。

川島織物セルコンは、織物メーカーとして人類の長い歴史の中で重要な役割を果たしてきた「織物」の素晴らしさを後世に伝え、織物文化の継承と振興を通じて社会に貢献したいとの思いから、企業博物館「織物文化館」を運営しています。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類など、織物に関する貴重なコレクションや、当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。

『明治 150 年展 明治の日本画と工芸』では、織物文化館に保管している二代川島甚兵衛が明治期に製作した織物の見本集である「からにしき」などを展示いただきます。

■展示いただく主な作品

見本帖「からにしき」(明治時代)



作家名 : 川島甚兵衛(二代)[試織]
川島織物考案部[原画]
技法・素材 : 漆箱、絹織物/紙本着色
展示期間 : 前後期入替

綴織壁張「光琳四季草花」(明治 22 年)



作家名 : 川島甚兵衛(二代)
尾形光琳[原画]
技法・素材 : 綴織、絹
展示期間 : 前期

明治 150 年展 明治の日本画と工芸

【会 期】 2018年3月20日 ~ 5月20日

【会 場】 京都国立近代美術館 (<http://www.momak.go.jp/>)

展覧会HP <http://www.momak.go.jp/Japanese/exhibitionArchive/2017/424.html>

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン

報道関係の方から 広報担当 有賀・松本 TEL:075-741-4316

作品について 織物文化館 小柳 TEL:075-741-4120

当リリースは、京都経済記者クラブにお届けし、当社ホームページ(<http://www.kawashimaseikon.co.jp/>)でも発表しています。